中 学 ２ 年　道 徳 授 業 案

日　時　平成 26 年 10 月 28 日（火）校時
生　徒　２年Ａ組　男子 13 名　女子 21 名 計 34 名
授業場　附属釧路小学校５年２組教室
授業者　更科　結希

１　題材名　『　思いやりの心　』　内容項目２－（２）

２　資料名　『　カーテンの向こう　』（出典：中学道徳３　心をつないで　教育出版）

３　主題設定の理由

（１）ねらいとする価値

中学生の時期は、自己を支える存在として他の人との関わりの大切さについて考え、他者を理解していくことができるようになる。しかし、生徒の実態を見ると過度のライバル心や利己的、自己中心的な行動をとるような姿も見られる。他人との関わりから得られるものは本来、自分も他人も共にかけがえのない人間であることの自覚や、他人の立場を尊重することのできる心であるだろう。その上で、感謝と思いやりの心を持って人に接することができるような態度が育つと考える。

生徒観省略

自己肯定感を高めるためには、相手にとって他者となる自分自身が、どのような心の在り方で接していくべきかを考える必要がある。なぜなら他者を思いやることを通し、相手からの感謝や信頼を得ることによって自らも充実感を味わうことができるからである。そのためには、相手の感情を想像し様々な人間の立場や考えを尊重していこうとする姿勢が必要であり、肯定的に受け止める人間関係が根底になければならないだろう。

本時では、他人との関わりの中で、思いやる心のあり方には様々な形があり、他者のために自分はどうあるべきかを考え、感じることが、思いやる心へつながることを深く考える機会としたい。

（２）資料について

本時で用いる資料「カーテンの向こう」は、イスラエルの病院の病室で生きる希望を失いつつも生きている人々の姿を、ヤコブの生き方を通して紹介されているものである。ヤコブが病室の仲間に言った外の様子を語った嘘は、仲間を励ますものであり希望を与えるものであった。この資料は「私」の視点を通してヤコブの姿を見ていくことによって「私」という人間の本当の感情が揺れ動く様子がわかる。「私」が本当のことを知った時に感じた気持ちを考えることによって、様々な人間の感情を感じることができるのと同時に、本当の思いやりとは何かを、ヤコブの行動や主人公の心の変容を通して考えさせることのできる資料である。

４　本時案

（１）本時のねらい

他人とのかかわりにおいて、人を思いやる心には様々な形があることを知り、自分がどうあるべきかを考えることができる。

（２）本時の展開　　＿＿＿＿中心発問　○発問　△補助発問　　予想される生徒の反応

主な学習活動	教師の関わり	指導展開上の留意点
１．今までの自分の経験を振り返り発表する。 アンケート調査（事前に行ったもの）の掲示 １位バスで席をゆずった　２位おうちに来た人をもてなした。　３位荷物を持ってあげた 理由　大変そうだったから　助けたいと思ったから	１．資料を提示し、似たような経験があるか考えさせる。 ○「このアンケート結果は、人にしてあげたこと、人にされて嬉しかったことの一覧です。同じような経験はありますか」 △「なぜ、このような行動をとりましたか？」 ・今日は、人との関わりについてみなさんで考えていきましょう。	・主題に対する興味・関心の喚起
２．資料の範読を聞き、内容について把握する。 ・治らないかもしれない体のことで頭がいっぱい・死ぬことに向かっているので暗い気持ち・未来はない気持ち	２．資料「カーテンの向こう」を配布し、範読し、病室内の状況を把握させる。 △「病室の人たちは、どのような思いでこの部屋にいるか考えてみよう」	
３．利己的な『私』の思いについて考える。 ・いやなやつだ　・楽しみにしていたから独り占めしたかった　・想像できる　・ずるい人・ヤコブもやったから自分もいいだろう	３．『私』の考えについて触れ。人間の弱い一面について考えさせる ○「みんなになんて知らせてやるものかと思った『私』についてどう思いますか」	・自分本位な考え方に走ってしまいがちな人間の一面について触れる
４．資料の終末を知り、『私』の心境を考える。	４．資料の終末を提示し、『私』の心境について考えさせる。	
資料終末 「そこから見えたもの、カーテンの向こうは、なんと冷たいレンガの壁だった」		
・病室の人のため・自分のため・嘘の話をして気持を和らげたかったから	△「ヤコブは、何のために嘘をついていたのでしょうか」	・道徳的価値の自覚を深めさせる発問。真実を知った上での『私』の心情の葛藤に迫りたい
・何を言ったらいいのだろう・ヤコブはみんあのために嘘を言った。・自分はどうしよう。みんなにどんな景色の話をしたらいいだろう。・悲しい気持ちになった	○『私』は外の風景を見て何を考えたと思いますか。	
５．壁を目の当たりにした時の様々な想いを想起しながら考える。 ・周りのために嘘をつく・病室の人を喜ばせようとした嘘を続ける　・ヤコブのことを考えた・本当のことを言う・黙っている・絶望する	５．自分が壁に直面した時の自分の行動について考えさせる。 ○「あなたがレンガの壁に直面したら、どうしますか」 ・行動とその理由について	・『私』を自分に置き換えて、どのような行動をとるかその理由も含めて考えさせる。他者のためにどのような行動が最善であるか考える。様々な思いやりの形について考える
６．本時の感想をワークシートに記入する ７．教師説話を聞く。	６．本時の感想をワークシートに記入するように指示する。 ７．教師の説話	